

働いてよし&暮らしてよし むらやまの企業

山形市農業協同組合

山形市にある山形市農業協同組合の中川和彦さん取材しました！

中川さんは山形県山形市出身で、2022年に入組しました。

現在は下条支店で勤務しています。

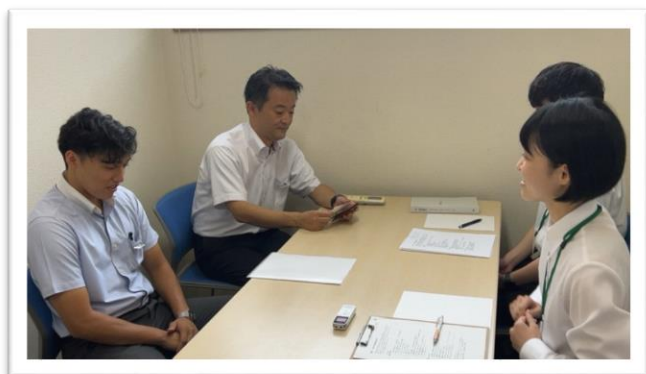
(1) 仕事内容編



——現在の仕事内容を教えてください。

私は現在、JA 山形市下条支店で、主に組合員や地域の利用者の方々を訪問して、貯金や共済推進、さらに年金振込先の指定替え推進等、新規取引先の開拓をしています。また、相続の手続きのお手伝いや、ローンの相談を受けることもあります。地域の皆さんとの交流を大切に、暮らしに役立つ総合的なサポートを行っています。具体的には、貯金推進、共済の推進・継続手続き、相続手続きのお手伝い、ローン相談、さらに不動産部が管理しているアパートの入居者への情報提供など、多岐にわたる業務を担当しています。

これらの業務は、単に金融商品を提供するだけでなく、地域の方々の生活を支え、安心して暮らせる環境づくりにも貢献できる仕事だと感じています。組合員・利用者への訪問活動や店周を通じて、地域に密着したサービスが提供できることはやりがいもあり、業務を通じて人間関係も築けるため、日々のコミュニケーションを大切にしています。



——この組合の魅力について教えてください。

下条支店の魅力は、何と言っても人との繋がりを大切にする風土です。組合員や利用者との直接的な関わりが多いため、地域の方々と深く信頼関係を築けることが何よりも魅力的だと感じています。また、上司や先輩方との関係が非常に良好で、風通しの良い職場環境が整っています。新しいアイデアや意見がしっかりと受け入れられる雰囲気があり、若手でも意見を述べやすい環境です。

さらに、成長するためのサポート体制が充実しており、現在は入組3年目までの職員を対象とした新人研修「喜望塾」で働くことの基礎やJAの概要を学んでいます。他にも、業務に関する専門の資格取得や研修の機会も豊富に提供されているため、自分のスキルアップが実感できます。職場の中で実践し学べることも多く、日々の業務にやりがいを感じながら成長できる点が特に魅力的です。また、業務を通じて地域の発展に貢献できることも大きな魅力の一つです。これからも地域密着型のサービスを提供し、地元に貢献し続けたいと考えています。



(2) 職場編



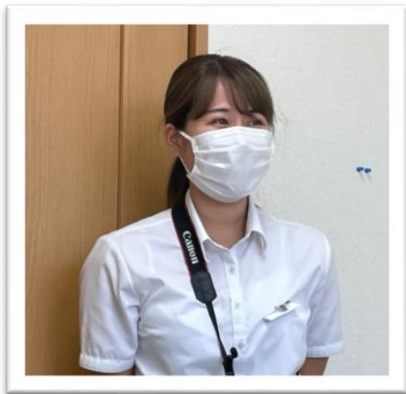
——この組合に就職を決めた理由を教えてください。

私は在学中サッカーに打ち込んでいたものの、怪我により断念せざるを得ませんでした。それをきっかけに地元で貢献したいという思いが強くなり、地元企業である JA に就職を決めました。父が農業関係の仕事をしており、父の勧めもあって、JA という職場に目を向けました。地元への貢献と、人々の暮らしに関わる仕事ができる点が大きな魅力でした。

また、組合員の方々との繋がりを大切にしたいという思いもあり、JA の理念に共感したことが決め手となりました。JA は地域密着型のサービスを提供しており、地域の人々との絆を深めながら、仕事を通じて社会に貢献できる点が自分にとって大きな魅力でした。就職後は、地域の課題解決に貢献できる仕事をしているという実感を持ちながら日々の業務に取り組んでいます。

——入組して良かったと感じることや成長したことについて教えてください。

入組して良かったと感じることは、組合員や利用者との深い信頼関係を築けることです。特に訪問活動を通じて、直接感謝の言葉をいただけることがやりがいを感じさせてくれます。また、成長を感じる点は、業務を通じて自分の責任感が強くなり、仕事に対する自覚が深まったことです。特に1年目は学生としての感覚が抜けず、モチベーションを保つのが難しい時期もありましたが、3年目に入り、責任ある仕事を任されるようになり、次第に自分の成長を実感するようになりました。これまでに学んだことは、資格取得や業務スキルの向上に活かされています。また、先輩や上司から学べることが多く、日々新しいことに挑戦できる環境が整っています。入組してからの研修も充実しており、社会人としての基礎をしっかり学べるのが成長につながっていると思います。



——女性の働きやすさや活躍推進の取り組みについて教えてください。

(JA 山形市総務課の齋藤さん)

JA 山形市では、女性の活躍を推進するために子育て世代を対象とした育児休業等に関する制度を設けています。具体的には、育休をはじめお子さんが小学校に入学するまで勤務時間を短縮する制度があります。これにより、保育園への送迎後に出勤できる環境が整えられています。

また、女性管理職の増加を目指す国の方針に沿った取り組みも行われており、女性の正職員が管理職に就き後輩を指導する機会を増やす努力が続けられていて、今後も女性がリーダーシップを発揮できる職場づくりが進められています。さらに、育児に関する制度は男女問わず利用可能で、男性も育児休業等に関する制度を利用できる体制が整っています。

(3) ある日の過ごし方編

●8:00 【出勤】

本日訪問する組合員のリスト確認や外務の段取り確認などを行います。

●9:00 【外務活動】

組合員、利用者の方々の自宅を訪問して、貯金や共済の推進・新規開拓などをして、12時前ぐらいに帰ってきて、午前中の事務処理をします。



●12:00 【お昼休憩】

お弁当や外食でリフレッシュしながら、しっかり休みます。

●13:00 【外務活動】

組合員、利用者の方々の自宅を訪問して、貯金や共済の推進・新規開拓などをします。

●15:00 【翌日の準備】

午後の分の事務処理と翌日の外務活動の準備をします。

●17:00 【終礼】

掃除をして退勤なのですが、営業会議（組合員利用者の契約期日管理や推進の準備、訪問準備）がある日は退勤が19時くらいになる時もあります。

●19:00【退勤】

退勤後や休日は、リフレッシュのために趣味に時間を使うことが多いです。具体的には、音楽を聴いたり、スポーツを楽しんだりしています。スポーツに関しては、以前サッカーをしていたこともあり、現在も週に数回ランニングをしています。身体を動かすことで、仕事のストレスも解消され、心身ともにリフレッシュできます。



(4) むらやまでの暮らし編

——村山地域で暮らして良かったことは何ですか。

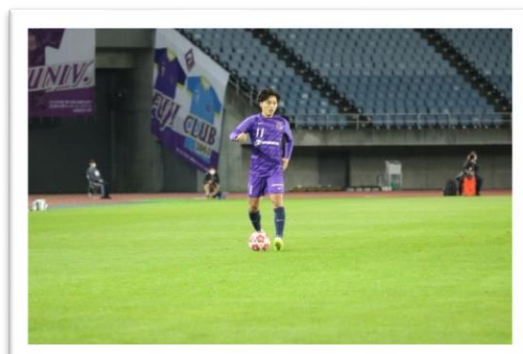
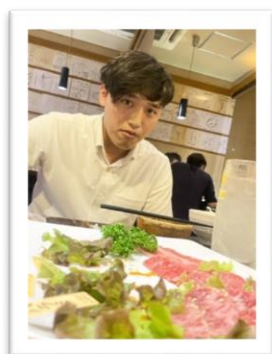
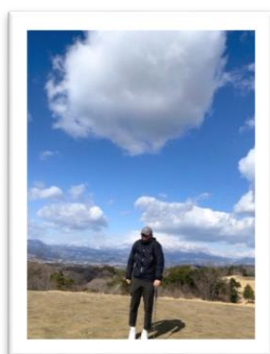
村山地域や山形の良さは、やっぱり自然が豊かで空気が美味しいところですね。自分が住んでいる馬見ヶ崎沿いは特に好きな場所で、休日には盃山を登ってリフレッシュしています。展望台もあって、そこからの景色を眺めるのが気に入っています。あまり知られていない穴場なので、静かで落ち着けるのも良いところですね。

あとは、ご飯が美味しいことも魅力の一つです。シンプルですが、食べ物が美味しいというのは生活の中で大きいですね。ラーメンも好きで、近くにあるケンちゃんラーメンによく行きます。さらに、物価が都会と比べて安いので、実家暮らしの自分にとっては出費が少なく助かっています。都会っぽくなくて、自然に囲まれた過ごしやすい環境が山形の一番の良さかなと思います。

——退勤後や休日の過ごし方について教えてください。

休日は時々、趣味のゴルフも楽しんでいます。学生時代からサッカーをしていたこともあり、スポーツ観戦も大好きです。特にサッカーの試合は地元のチームを応援しに行くこともありますね。スポーツに触れる時間は、仕事の疲れをリフレッシュさせてくれる貴重な時間です。また、同期と過ごす時間も大切にしています。毎週木曜日には喜望塾があり、入組3年目までの職員が集まって学ぶ場となっています。研修の後は同期と食事に行くことが多く、こうした時間が気分転換にもなっています。

同期3人とは本当に仲が良く、仕事の悩みを共有したり、休日と一緒に出かけることもあります。JAの仕事は訪問活動が多く、人と接する機会が多い分、休日は自分の時間をしっかり持つようにしています。趣味の時間と仕事の時間を切り替えることで、毎日を充実させています。地域の皆さんとの関わりが多い仕事ですが、その分プライベートも大切にし、リフレッシュしながら日々の業務に励んでいます。



——山形の好きなものを教えてください。

私が山形で「好きなもの」を語る時、まず思い浮かぶのは、地域の人々との繋がりです。私は地元へ貢献したいという思いが強く、農協で働き始めたことがその一環です。地域の高齢者の方々に訪問して、感謝される瞬間がとてもやりがいを感じます。また、訪問活動では「ありがとさま」と言われることが多く、これが私のモチベーションの源です。日々の業務を通じて、地域のためになる実感を得られることが、私の大切にしている「好きなもの」であり、仕事の楽しみでもあります。

(5) まとめ編



———今後の目標や挑戦したいことについて教えてください。

私の今後の目標は、資格取得を進めながら、組合員や利用者に寄り添って支援を続けていくことです。資格がないとできない業務も多いため、必要な資格をしっかりと取得し、さらに成長していきたいと考えています。10年後も訪問活動を続け、組合員や地域の方々に貢献し続けることを目指しています。また、JAが長く存続できるよう、信頼関係を強化し、地域にとって必要な存在であり続けることが私の目標です。日々努力し、より多くの人々に感謝される仕事をしていきたいと思っています。

———インターンシップの実施状況について教えてください。

(JA 山形市総務課の齋藤さん)

インターンシップは随時受け付けていますが、特定のプログラムは決まっています。

働いてよし、暮らしてよし むらやまの企業

山形市農業協同組合

昨年より受け入れを始め、随時実施しています。学生の皆さんに JA に関わる農業や不動産など全ての仕事を体験してもらうために 1 ヶ月のプログラムを組み、1 週間ごとに異なる部署を体験していただきました。昨年は大学の春休み期間に実施しましたが、学生の希望に合わせて、例えば 3 日間や 1 週間だけの体験も対応可能です。学生の皆さんが特定の分野に興味を持っていれば、その分野に注力する柔軟な対応もしています。インターンシップの詳細は JA 山形市のホームページに掲載していますので、ぜひ応募してみてください！

———これから就職活動を行う学生へのメッセージをお願いします。

私は、就職活動を行う大学生や高校生の皆さんに向けて、やりがいを見つけられる職場に就くことの重要性を伝えたいと思います。自分がモチベーションを保てる環境で働かないと、仕事を続けることは難しいと感じています。インターンシップを通じて、どんな仕事自分が合うかを見極め、やりがいを感じられる職場を見つけてほしいです。また、私は大学時代に社会情勢について広い視野を持つことが大切だと気づきましたが、やっておいで良かったことは、多くの人とコミュニケーションを取ることです。この経験は今の仕事にも活かされています。



———ありがとうございました！

J A 山形市下条支店中川さんは、明るく活動的な雰囲気が印象的でした！ J A 山形市下条支店では、貯金や共済の案内や、農業に関すること、不動産など、多様な業務があり、地域のコミュニティーに根ざした仕事をしているのだと感じました。また、入組 3 年目の若手職

働いてよし、暮らしてよし むらやまの企業

山形市農業協同組合

員が学ぶ喜望塾の開催や、時短出勤や時差出勤などの女性が活躍するための制度が設けられており、若手職員が成長できる環境、女性も活躍できるような環境がJA山形市下条支店にあると感じました！

【インタビュー：山形大学 門傳千宙（人文社会科学部）、栗田琉太郎（工学部）、中島孝太（工学部）】

山形市農業協同組合

★組合員との距離が近く、密接にコミュニケーションをとり合っているので、地域との絆を感じることができます。幅広い事業を取り扱っており最初は覚えることが多い仕事ですが、新人研修などで先輩職員との横の繋がりを大切に、共に成長できる環境の整備に努めています。現在創立76年目。創立100周年を目指し日々業務に励んでいます！

★やまがた健康企業宣言登録／やまがたイクボス
同盟加盟

- ・所在地 山形市幸町18番20号
- ・設立 昭和23年4月
- ・従業員数 95名（男性57名、女性38名）
- ・協同組合として農業をはじめ金融・不動産等を取り扱う「総合事業」
- ・URL <https://www.jayamagatashi.or.jp>

